津山高校
第17号
県南クラブ
2011年8月5日発行
津山高校同窓会
岡山県南支部会報

来んちゃい！ 津高同窓会へ

支部総会を10月16日開催

津山高校同窓会岡山県南支部の平成23年度総会・懇親会を10月16日（日）、岡山市北区駅元町のホテルグランヴィア岡山で開催します。当日は午前11時半から総会を開き、平成21、22年度の事業報告・収支決算報告案を審議していただきます。任期満了に伴う役員の改選も予定しています。

総会後、懇親会に移り、津山からお見えになる母校、同窓会本部役員の皆さんと一緒になって、旧交を温めてもらえたらと思います。アトラクションはビンゴゲームを予定しています。会費は男性・女性とも7,000円です。

２年に１回開催する支部総会です。若い方も気軽にご参加いただき、絆を深め合い、なつかしい古里・津山の話で大いに盛り上がりましょう

同封のはがきで、出欠のご返事を９月16日（金）までにご返送くださるようお願いいたします。

写真はいずれも
平成21年度
総会・懇親会

平成23年度 県南支部総会・懇親会

- 日 時　10月16日(日)午前11時半～午後2時半
- 場 所　ホテルグランヴィア岡山
  岡山市北区駅元町1-5　☎086-234-7000
- 会 費　7,000円

復興計画の早期策定を

支部長　草野　　功

県南支部同窓の皆様にはご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今年は3月11日の東日本大震災による甚大なる被害が東北地方のみならず日本全体をはじめ世界に大きな損害を引き起こし、景気悪化に追い打ちをかける状況となりました。

日本各地、さらに外国からも多くの団体、ボランティア団体が救援にあたり、全面的に復興の助力をされています。今回は福島原発の被害が放射能散逸事件を巻き起こし、大変悲惨な状況となりました。震災に誘発された原発事故は人災の面は免れきれず、被害は一層拡大、被災住民の住居、生活基盤の崩壊など、大変憂慮される状況になってきています。昭和20年8月の広島・長崎の世界初めての原爆投下により、被爆の恐ろしさは、世界中の人々が骨身に染みている筈であります。これに対しては政府が中心となり、早期に十分なる支援と将来を見越した復興計画が必要と思います。

平成7年1月17日朝の阪神淡路大震災後、私は医療、特に腎不全患者の透析医療の立場から岡山県医師会透析医部会を立ち上げ、震災に対し、医療側と患者側の支援が出来るように、もろもろのネットワークシステムを構築してまいりました。今回も全国に先立ち、日本透析医会のもとで透析患者の受け入れ態勢（県下の透析施設の協力の下に外来透析、入院透析ベッドを200～300床確保し、さらに岡山県・岡山市・倉敷市の所有住宅、JR西日本の空き住宅65室）を用意しました。現地のコーディネーターとの相談窓口を設置し、さらに原発の放射能被災者にも対応できる体制も整えておりました。

今回は被災地が東北地方で岡山とは遠距離のため透析患者の集団搬入はありませんでしたが、縁故先をたどって、岡山県には5名の透析患者が来られております。近隣の新潟、北海道へは多数の患者移動がありました。

放射能に対する心配は強く、私の施設にも関東から岡山に逃避されてきた一般患者さんがありました。

この災害は色々な産業にも影響があり、医薬品の提供も一部止まり、診療に不便を感じております。また、医学関連の全国規模の学会も中止または延期になったこともあり、混乱をしております。その他、祝宴会なども中止したところが多くありました。景気を一層後退させることになります。我々の同窓会は2年に一度であり、景気高揚のためにも沈滞ムード一掃のためにも盛大に行いたいものです。

就職氷河期の解消にも一役買えるよう、先輩後輩の絆を深め、津山高校の発展のための一助になれば幸いであります。

同窓生の皆様のご多幸を祈念し、ご挨拶と致します。

（くさの・いさお。昭和31年卒）

津山高校近況と御挨拶

校長 有元　茂

津山高校同窓会県南支部の皆様、日頃は物心両面にわたる多大なる御支援をいただいておりまして、誠にありがとうございます。

少子化の影響で、現在、本校の定員は1学年280名と大幅に減ってしまいましたが、今年もフレッシュな新入生が入ってきました。新入生の感想を聞いてみると、「授業中、みんな静かで、おとなしく授業を受けているのにびっくりした」「まわりを見ると、優秀な真面目な人ばかりで、自分はついていけるのかなと少し心配になった」といった不安を口にする一方で、「自分は自分でいいんだ。私は自分で変わり者だと思っていたけど、個性的な人がいっぱいいて、みんなのびのびしている。津山高校に来て、初めて安心してありのままの自分が出せた」と昔ながらの感想を洩らす生徒もいます。

部活動と勉強の両立を目差す生徒は多く、おおよそ9割の生徒が部活動に所属しています。中でも吹奏楽部やサッカー部・弓道部は大所帯で、運動部・文化部20余りの部が、厳しい環境の中でよく頑張っています。昨年度は、文化部の甲子園といわれる全国高校総合文化祭に吹奏楽部、文学部、美術部が出場し、存在感を発揮してくれました。また、伝統の卓球部は、個人戦で全国大会への出場権を得ながら、震災の影響で大会が中止になり、残念なことでした。

勉学面では、一人一人の生徒に対する指導がきめ細やかで手厚い指導が行き届いていることが近年の本校の特徴です。これは、現在ほぼ三分の二の生徒が国公立大学に進学していることに如実に表れています。

しかし、内向きの生徒が増えていること、グローバル化の時代にあって、世界に雄飛してやろうといった大きな志を持った生徒が少なくなってきていること、男子生徒の覇気が乏しいことなどが気になるところです。

この点、現代の子育てや学校教育のあり方にも大きな関係があると思われます。高度経済成長期の頃までは、津山高校の教育にもどこか戦前の中等教育の名残があって、「悔しかったら歯を食いしばってついてこい」といったスパルタ式教育が一般的でした。従って、生徒は必死になってついていった。自分で苦労して、自分なりの勉強法を編み出したり、勉強についていけないと悟った者は、部活動などそれ以外の場所に自分の居場所を求めて個性を磨いた。今ふりかえっても、こうした時代に青春期を送った人々は、個性的な方が多いように思われます。

ついて行ける者も、ついて行けない者も必死に自分を磨くから、個性的な人間が生まれたはずですが、現代はあまりに価値観が画一的になりすぎて、「落ちこぼれ」を許さない時代です。個性的な若者を育てたいが、一方ではできるだけ多くの進学希望を実現させたい。津山高校の悩みも、ここにあります。

今後は、学校以外の人的資源を有効に活用し、学校の教育力を高めていくことが問われる時代です。幸いにも本校は全国に優秀な同窓生を送り出している伝統校で、素晴らしい人脈があります。同窓生の皆様方には、一層のご支援をお願いします。

（ありもと・しげる。昭和47年卒）

不妊治療に取り組む

林　伸旨さん

不妊治療で知られる岡山二人クリニックに今年３月、真新しい建物がお目見えした。岡山市北区津高、山陽自動車道・岡山インター入り口近くの国道53号沿い。以前からある２階建ての旧施設に連なる５階建てで、半円形の屋根に取り付けられた風見鶏が印象的だ。

「望妊治療センター」と名付けられた新施設は約2,200㎡。旧施設（約760㎡）に比べると３倍の広さがある。体外受精の操作を行うクリーンルームの培養室を、患者らが窓越しに見学できるようにしたほか、窓を一切開閉しない強制換気システムを採用。「安全性・機能性に優れ、クリーン度や設備面でも世界トップクラスにしたつもり」。院長を務める林伸旨さん（昭和42年卒）は力を込める。

患者との信頼関係を築くため、平成８年の開院以来「意識して情報を公開している」。「患者さんの信頼を得るには、やることはキチッとやり、プロセスを含めて十分説明し、情報を共有することが大切」と話す。

開院からこれまでの妊娠総数などをホームページにアップしている。昨年１年間の初診カップル数は783組、延べ外来受診者数３万9,988人、体外受精採卵数693。妊娠総数は599件で、内訳は一般治療180件、人工授精113件、体外受精は306件。

５階建ての「望妊治療センター」が完成した岡山二人クリニック

体外受精で違うカップルの精子と卵子を取り違える可能性は、全くゼロとは言えない。安全性を確保するため、作業は複数のスタッフによるダブルチェック体制を敷く。培養室を外から見られるようにしたのは、患者も参加し、チェックしてもらうことで、患者中心の医療を進めたいという狙いから。“望妊治療”の言葉にも、クリニックの思いが込められている。

「赤ちゃんを欲しい人が１年経ってもできない場合、何らかの妊娠しにくい原因があると思われる」と指摘。不妊の原因を調べ、分かれば、適切な治療で“不自然な状態”を“自然な状態”にし、妊娠に導くようにしている。だが、不妊の原因は全て分かる訳ではない。明らかな原因が特定できない場合、カップルの意向を踏まえながら治療を段階的にステップ・アップさせていく。最も積極的な治療方法は体外受精で、１回当たりの成功率は30～40％、累積妊娠率は70％という。

女性が35歳までは妊娠率が高い。しかし、35歳以上になると、妊娠率は下がる。流産率が高くなるほか、ダウン症の発生率も上がる。40歳を過ぎると、卵子が採取しにくくなる。「自分たちの将来計画をよく話し合い、35歳を過ぎた状態ならなるべく早く来てほしい」とアドバイスする。

「スタッフ全員が全体の業務に精通し、システム的な対応ができるようにしたい」とマンパワーの養成に力を入れている。患者に説明している事柄は、たとえ自分の担当業務以外でも知っておく必要があるとし、年１回、副院長以下３人の医師も含め約50人のスタッフ全員に習熟度テストを実施。さらに100項目にわたる技術能力を調べる。「このテストをパスしないと業務は任せられない」。

電子カルテをいち早く導入。いつ、だれがどういう作業をし、どういう結果だったかを克明に記録し、データ化。この臨床データは院内LANで全スタッフが閲覧できる。一人一人の技量は一目で分かる。自分の仕事に責任を持つ意味でも「当たり前だ」と言う。

生殖医療の質向上を狙いに平成15年に結成された日本生殖補助医療標準化機関（JISART、現在25施設）に加盟。クリニックでカスタマイズ化したシステムを他の医療機関に紹介する先進的な取り組みができていると自負する。

体外受精は一番良い条件の時に採卵しなければならないことをスタッフ全員が理解している。このためクリニックは年中無休だ。院長も隔週で日曜日に勤務する。スタッフ全員から問題点だけでなく自分やクリニックの「良いこと」を見つけて報告してもらっている。「働かされていると思うとやれない。要は楽しめると思えるかどうか。自分が目的意識を持っていると、楽しく、苦にならない」という。

スタッフのスキルアップのために研修機会を増やし、安全性確保のためにダブルチェック体制を敷くことはコスト増につながる。しかし、より安心、より安全を確保するためには、必要な経費だと考えている。

体外受精や人工授精は、保険診療が利かない。体外受精は１回あたり40～50万円の費用がかかる。「『高い』と言われるのは覚悟している。しかし、『安い』より、より確実、より安全な生殖医療の確立を目指している」とキッパリ。

生殖医療の確立を目指す

不妊治療を通して築かれた患者と医院との信頼関係を大切にする。不妊治療が成功しないカップルも少なくない。時間とお金を使う。患者からすれば腹が立っても当然である。ところが、「自分たちは本当に努力したが希望が叶わなかった。でも『お世話になった。ありがとう』」とお礼を言われるとやりがいを感じる。

“お城山”のたもとにあった内科医院の三男として生まれ、津山高校から岡山大医学部に進学。神経内科医、小児科医になった二人の兄と「比較されるのが嫌だった」こともあり、産婦人科医の道を選択、平成８年にクリニックを開設してから15年が経過した。

「チーム医療と情報共有が何よりも大切。システム的な対応をキチッとし、患者さんから『ここに来て良かった』と言われたい」。新しい施設の完成を機に、クリニック運営の原点を改めて見詰め直している。

（はやし・のぶよし）

頑張ってます

カラーコンサルタント

石井　香里さん

「色」の活用で毎日を楽しく

「『こんなときには、こういう色を使うと効果的』といった色についての知識を持ち、色の使い方を工夫すれば、毎日の生活が楽しくなりますよ」。

こうアドバイスする石井香里さん（昭和62年卒）は、カラーコンサルタント、ライフビューティープランナーとして、津山を拠点に活躍する女性実業家だ。

カラーコーディネートとメイクアップ、アロマテラピー、ネイルに関する資格取得と、プロとして独立できる技術の習得が可能な「アクティ・カレッジ」を岡山市と津山市で運営している。

「色」の道に進んだのは28歳の時。津山高校を卒業後、神戸松蔭女子学院大に進学。卒業してから津山へ帰郷し、証券会社に勤める。しかし、バブル経済が破綻、株価の大幅な下落とともに、給料やボーナスが下がった。

将来に不安を感じ、26歳で「手に職をつけよう」と、以前から興味を持っていた色の勉強を本格的に開始。会社が休みの土、日曜日には岡山市の専門学校に通う一方、大阪の学校にも月１回足を延ばした。猛勉強の結果、１年半で色に関する知識や技能を問う「色彩検定」１級に合格する。

これを機に会社を辞め、平成８年に「プランニングオフィス」を立ち上げ、「プロ養成スクール津山校」を開校。洋服とメイクの色の合わせ方などを教えた。当時アロマなどは県外に行かないと学べない環境だったため、「岡山でも学べる場所、資格を取れる所がある」とアピールする狙いから“プロ養成”と銘打った。

当初、生徒は１年間で７～８人と少なかった。だが、「独立するなら３年間無収入でも食べていけるようにしてから」というアドバイスをもらっていたため、２～３年間は収入がないことを覚悟。将来に備え、証券会社時代に用意していた蓄えでしのいだ。「独立に自信はなかったが、漠然とした感覚で“何とかなる”と思っていた」と振り返る。

２年後に岡山校を開設、その翌年にはスクール名を現在の「アクティ・カレッジ」に衣替え。スタッフと共に「岡山で学ぶならアクティがある」と言われたいと踏ん張り、業績を順調に伸ばす。「“岡山で初めて”を手掛けてきた」と自負する。

カラーコーディネーターとしても、カラー活用講座の講師を務める一方、イベントや店舗設計などで色の活用方法をアドバイス。津山市内を走る「ごんごバス」や市立図書館の貸出券のカラープランなども手掛けてきた。

現在、日本メイクアップ技術検定協会で、全国で12人しかいない本部認定講師の一人。県外へ指導に出掛けることも多い。吉備国際大学短期大学部の非常勤講師を務め、週３日、岡山駅前キャンパスで、保健科総合美容専攻の生徒にメイクアップやネイルを教えている。

津山商工会議所青年部の副会長も務める。「津山は発展はしていないが住みやすい所。基本的に津山が大好き。地域に密着し、何か新しいことができれば」「活性化できるようなものを手掛けたい」と意気込む。

今年のお盆の８月13日、津山で開かれる津山高校同窓会本部の総会では、石井さんら第38期生が当番幹事を務める。懇親会で披露するアトラクションの内容は当日まで秘密にされているが、自身は合唱隊の一員。「去年から皆で練習してきた。ぜひ成功させたい」と張り切っている。

それでは、県南支部の皆さんに、色に関するアドバイスを――。

人はそれぞれ肌質や瞳の色などが違うため、似合う色、似合わない色がある。自分に似合う色を知り、これをメイクアップや服装に生かせば、会う人に好印象を与えられる。「服や化粧の色遣い一つで好感度は一層アップする」。

一口に「赤」と言っても、真紅や朱、ワインレッドなど様々な「赤」がある。似合う色の基準は、赤は赤でも明るめか濃いめ、という具合に、色味でなく、色調（トーン）で考える。日本人のパーソナルカラーは「スプリング」「サマー」「オータム」「ウインター」の４つの基本タイプに分かれる。

スプリングタイプはいつまでも若々しい雰囲気を持っているため、明るく鮮やかな色調が似合う。サマータイプは淡くソフトなパステルカラー、オータムタイプは渋くて深みのあるシックな色調、ウインタータイプは濃くはっきりした色調がそれぞれ似合う。その人の肌の質を調べ、実際に色を合わせてみると、どのタイプかが分かる、という。

一方、私たちの身の回りの色は様々な意味を持っている。例えば、青は集中力を高めるのに役立つとか、交渉事には黒と橙を組み合わせ、強い意志と親近感を演出すればうまく運ぶ…と言った具合だ。

石井さんは毎朝、自らを元気づけるため、オレンジ色の歯ブラシを使用。好きな色は明るい「バイオレット」。感性と創造性、直観力を高めてくれ、女性らしさ、美しさ、癒しを感じさせる色だ。自分のパワーを引き出してくれる色と思っており、会社のロゴカラーにし、パンフレットなどに使っている。

「今日は元気がないと感じたら、パワーを出すため、赤色の小物を持つ方法もある。場合によっては、似合わない色を敢えて使うケースも考えられる。一つ一つの色の意味を知っておくと、洋服の色で調整したり、ハンカチなどの持ち物でも生かせるなど、使い分けができる」と話す。

「色の効果で心が落ち着いたり、活力を与えられたりする。生活の中でいろいろな色を活用することで、心が健康になり、それが若々しさや美しさにもつながりますよ」。

（いしい・かおり）

十六夜絵画クラブ

絵画クラブは４月19日から24日まで、岡山市内で会員の作品展を催しました。同窓の皆さんも大勢ご来場くださり、作品をダシにして楽しい交流ができた一週間でした。ご来場くださった皆さまありがとうございました。

５月は半田山植物園で丁度見ごろのバラをスケッチ。各自弁当持ちで遠足気分、よく日焼けしました。

６月は岡西公民館で静物スケッチ。別の日には会のリーダー福島隆壽さんの個展を皆で見に行きました。

７月、８月、９月は第一火曜日に岡西公民館で描くことにしています。

10月は県内外の企画美術展を鑑賞する予定です、まだ何処の美術館へ行くか決まっていません。

11月は紅葉が美しいどこかでスケッチをすることになると思います。

今年度も毎月例会を開いて描いたり見たりしゃべったり楽しい交流を続けています。　（筆保 記）

■お問い合わせ先は
筆保　博文さん　☎086－279－7262

◀熱心に研究会

たまには▶
食事会？

釣り同好会

平成22年はいつものメンバーで11月23日に小豆島へ出かけました。当日は生憎の汐まわりと波が高く、大釣りを楽しみにしていた飯ダコは見事に外れ。しかし、船頭さんがあちこちポイントを替えてくれ、チャリコ（子鯛）、カワハギ、ベラ等がソコソコ釣れ、お土産は十分できました。特に重信さんは初めて？「自分の実力」で天ビン（ダブル）で釣り上げるなど大ハシャギ。皆、晩秋の一日を楽しく過ごしました。

今秋は赤穂沖の海上釣り堀でカンパチをはじめとする大物を狙います、支部ホームページに案内をします。参加のご連絡をお待ちしています。

■連絡先は　小森章二郎さん（☎086－270－2600）
　　中山　頼和さん（☎086－281－9066）

昨年11月の釣果です

カラオケ同好会

毎月末の水曜日、岡山市内のカラオケ店で例会を開いています。現在、新しい例会会場を探しています。お気軽にご参加ください。

■連絡先は　皆木　浩二さん（☎086－292－0626）

同窓会名簿の購入を　来年秋、発行

津山高校同窓会は2012年版「同窓会 会員名簿」の編集作業を進めています。平成24年３月卒業生までの約４万人にのぼる同窓生の氏名などを掲載するもので、Ａ４判、約900ページの体裁。平成24年11月に発行予定で、頒価は5,000円（消費税、送料込み）です。購入希望者は郵便振り込みで申し込んでください。

口座番号　01380－1　　口座番号　54240　　加入者名　岡山県立津山高等学校同窓会

（払い込み手数料は自己負担でお願いいたします）

現在、住所不明者の追跡調査を実施中です。支部会員の方に電話での照会があるかもしれません。その際は、ご協力をよろしくお願いいたします。

いざよい社交ダンスクラブ

来たれ！ ダンス道場へ

皆さん、今、生き生きと楽しくすごしていらっしゃいますか。

社交ダンスなんて暇な男女のお遊びと思っていらっしゃいませんか。**否**、社交ダンスとは　体をフルに使い　全感覚を研ぎ澄まし　男女二人の動きの調和から生まれる**芸術**に他なりません。

一流選手の踊りの動きのキレは武道にも通じるものがあり、そういう意味では　ダンスは芸術であるとともに　まさに**“舞道”**とも言えるでしょう。

アマチュアでも　そういう域に達するべく努力していると、気持ちが高揚してきます。

ただ一度の人生、自分の体を使って表現する喜びを　ぜひ社交ダンスで味わってください。

（杉山みゆき、昭和52年卒）

会費納入のお願い

- 県南支部の活動は年会費（2,000円）によって支えられています。
- 年会費は会報「県南クラブ」の印刷・郵送費のほか、会員の相互親睦を図る活動に充てられます。
- 納入は任意です。趣旨に賛同していただける方は会報と一緒にお送りしております郵便振込用紙で納入をお願いいたします。10月16日の支部総会・懇親会の会場でも年会費を申し受けます。

いざよいゴルフクラブ

直近の第63回例会は6月9日、赤磐市の赤坂レイクサイドカントリークラブで開かれ、鳥居節子さん（昭和41年卒）が優勝されました。

次回は9月5日（月）、岡山市の後楽ゴルフ倶楽部を予定しています。多数のご参加をお待ちしています。

■お問い合わせは
富岡　謙二さん　☎086－277－7864
原田　民子さん　☎＆FAX086－262－8057

赤坂レイクCCで開かれた第63回例会の参加者

開催回	場所	優勝	2位	3位
第60回（'10.10.5）	岡山CC・桃の郷	原田　民子	居森　脩	矢田　強
第61回（'10.12.6）	岡山国際GC	難波　哮	渡辺　格	富岡　謙二
第62回（'11.3.31）	山陽GC	竹本　旭	鳥居　節子	原田　民子
第63回（'11.6.9）	赤坂レイクCC	鳥居　節子	筆保　博文	阿井　道伸

歩こう会

10月初旬、鳥取県智頭町へ出掛けます。宿場町だった智頭の旧因幡街道に面する大規模な近代和風建築物「石谷家住宅」（国の重要文化財）、山菜料理が楽しめる「みたき園」を訪れるほか、片道30分～1時間のウオーキング（森林セラピー）を楽しみます。現地へはマイクロバスで往復します。

会員の皆様には9月初めにハガキで案内します。会員以外でも参加できます。

■お問い合わせは
関本　紀子さん　☎086－272－2157
蜂谷　弘紀さん　☎086－284－2583
携帯電話 090－3178－4266
電子メール　hachiya@chive.ocn.ne.jp

支部ホームページをリニューアル

今年5月、県南支部のホームページをリニューアルしました。

主な特徴は、ユニバーサルデザインを採用▽掲載内容の更新が頻繁でないことを考慮し、山陽新聞や岡山県、岡山市、津山市などのホームページの新着情報にリンクを張り、地域の最新情報を入手できるようにしている－などです。

支部のホームページでは、支部に関するニュース、同好会の活動状況などの情報が入手できます。ぜひアクセスしてください。「岡山県南支部」で検索を。

アドレスは http://www1.harenet.ne.jp/~izayoi/ です。

第16期 県南支部同期会を開催

我々の同期会は平成元年12月に発足し、津山高校第16期卒業生（昭和40年卒）で主に岡山県南在住の有志の集いです。会員相互の親睦を図ることを目的とし、毎年５月に総会・懇親会を行い、年末には忘年会を実施しています。近県の同期生にも声をかけ、広島、赤穂、高松のメンバーも参加しています。

平成21年度から忘年会については同窓会岡山県南支部総会と合同開催することが決定されました。その意味で今年の県南支部総会・懇親会と我々同期忘年会は同時開催となっており、同期の方々へはこの場を借りて、あらためて多数ご参加下さるようお願いいたします。詳細な日時はこの会報での案内をご覧下さい。

いつも多数の参加があり和気藹々とした集まりで、人生を思う存分謳歌しています。23年度総会で決定され、有志一同として東日本大震災に義援金を送りました。公式ホームページも開設し、活動の内容や連絡にも威力を発揮しています。県南支部ホームページにリンクされていますので、会員でない皆様も是非一度ご訪問下さい。

5月に開かれた第16期県南支部同期会の出席者

（文責・福田富男）

平成22年度 鶴山会懇親会

岡山大医学部 2回生　竹内 研一

岡山大学医学部の津山高校同窓生による親睦組織「鶴山会」の懇親会が平成22年11月13日、NTTクレド岡山21Fの「梅の花」で開催されました。

新１年生２人を加えた学生４人を含む、17名が出席。昭和25年度医学部卒業の田村誠一郎先生（昭和19年卒）による乾杯のご発声で会は始まり、豆腐料理とお酒を楽しみながら、各先生方の近況報告、新入生の自己紹介等が和やかな雰囲気のなかで行われました。

北朝鮮で生まれ育った、昭和34年度卒業の後藤勇先生（昭和28年卒）は「敗戦後ソ連の杜撰な占領政策の下、ソ連兵による略奪、暴行、反日的北朝鮮政府による迫害に遭った。飢えと寒さの冬、栄養失調で乳幼児が多く死亡。発疹チフスで大勢の大人が倒れる中、聴診器しか持たない医師だったけれど往診してもらえたのはありがたかった。過酷な診療活動で自らも発疹チフスに感染して亡くなった内科医が忘れられず、奇しくも生き延びて日本に帰国できたからには、自分も医師になって人助けしたい、という思いが強まった。外科医を目指したものの、誰もやりたがらないのになくては医療が成り立たない麻酔を専攻した」と淡々とお話し下さいました。この後藤先生のお話は、学生にとっては「人に役立つことをやりなさい」という貴重なアドバイスでもありました。

昨年11月に開催された岡大医学部「鶴山会」

また会の中盤では、当日都合がつかず参加できなかった鶴山会のメンバーから寄せられた祝辞13通が紹介されました。

私自身、社会人を経ての再入学という形で、この鶴山会の仲間入りをさせていただきましたが、手厚い歓待をしていただきました。医学や文化に伝統と歴史のある津山の血が流れる鶴山会会員の、世代を超えた絆を強く感じました。これからもますます、岡山の医療の発展、医学研究の進展が鶴山会会員によってなされることを確信しました。

（たけうち・けんいち。昭和61年卒）

おくやみ（お名前、卒業年、死亡年月日の順）

岡本　貴夫様（昭和22年卒、津中48期）平成22年９月１日

心からお悔やみ申し上げます。

支部会員の訃報情報をご遺族、同期生からいただき、ご遺族からご了解が得られた方のお名前を紹介しています。

訃報の情報がございましたら、支部事務局までご連絡をお願いいたします。

津山高校同窓会岡山県南支部会報「県南クラブ」第17号
2011年８月５日発行
発行人　草野　功　　編集人　片山淑雄
発行所　津山高校同窓会岡山県南支部
〒700-0816
岡山市北区富田町2-12-16 センチュリー富田町602号
ソーケン・プランニング内
TEL. 086-225-8607　FAX. 086-225-8600
E-mail　soken@mxt.mesh.ne.jp
URL　http://www1.harenet.ne.jp/~izayoi/

第17号 津山高校 県南クラブ

田村皮膚科・泌尿器科医院

医学博士 田村 誠一郎
(昭和19年卒)

〒700-0823 岡山市北区丸の内2丁目12番8号
TEL(086)222-4868 FAX(086)222-4860

内科、糖尿病科、消化器科、放射線科
医療法人 成和会

粟井内科診療所

理事長 粟井弘二 (昭和22年卒)
院 長 粟井佐知夫

〒700-0087 岡山市北区津島京町2-12-38
TEL(086)255-1330 FAX(086)255-2866

万成病院

小林玉江
(昭和23年卒)

＼もう一度"青春"を始めませんか!!／

いざよい社交ダンス同好会 会員募集中

練習日時：毎月第2火曜日、第4火曜日
13：30～16：00
場　　所：表町商店街
「ソシアルダンススタジオ カリヨン」

連絡先：大塚利子(昭和33年卒) TEL(0863)51-2348
福田富男(昭和40年卒) E-mail：fkdt@mx1.tiki.ne.jp

津山高校県南同窓会・絵画クラブ

洋画家 福島隆壽
(昭和25年卒)

光風会理事・岡山支部代表
日展審査員・岡山日展会長
岡山県展審査員

〒710-0013 倉敷市中帯江833-48
TEL(086)425-9187

BAG JEWELRY WEAR
sunami

小野温子
(昭和28年卒)

表町本店 sunami ● TEL(086)231-2455
岡山駅2F Borsetta ● TEL(086)232-9309

医療法人(社団) 福島内科医院

理事長 草野 功
(昭和31年卒)

〒700-0027 岡山市北区清心町3番18号
TEL(086)255-1281 FAX(086)255-1388

カイロプラクティック

行成治療院

院 長 松下行成

〒711-0933 倉敷市児島通生890-7
TEL(086)474-6785

黒明 東洋治(昭和33年卒)

いざよいゴルフクラブ
いざよい社交ダンスクラブ

齋藤和子
(昭和33年卒)

筆保博文
(昭和34年卒)

全秦通商株式会社

山陽ゴルフ倶楽部

代表取締役 全本親民
(昭和35年卒)

〒701-2433 赤磐市平山428
TEL(086)954-2211 FAX(086)954-2212

株式会社 明光商会

岡山営業所
顧 問 野々上 紘
(昭和35年卒)

〒703-8236 岡山市中区国富3-9-6
TEL(086)273-5963 FAX(086)273-9685
http://www.meikoshokai.co.jp
E-mail：h-nonoue@meikoshokai.co.jp

人を敬い 人を愛する

株式会社 敬愛

代表取締役 華山和彦
(昭和35年卒)

〒700-0904 岡山市北区柳町一丁目3番5号 金光ビル2F
TEL(086)231-1313 FAX(086)227-3010
URL：http://www.keiai21.com E-mail：hanayama@keiai21.com

外科・胃腸科・整形外科・皮膚科・肛門科・理学診療科
医療法人 芳貴会

江原外科胃腸科医院

院 長 江原芳男(昭和36年卒)

〒701-1342 岡山市北区加茂15-3 [自宅] 〒701-1211 岡山市北区一宮887
TEL(086)287-3300 TEL(086)284-0544
FAX(086)287-3301 FAX(086)284-0799
Eメール：yebara@okym.enjoy.ne.jp

Fruit culture

蜂谷弘紀
(昭和36年卒)

岡山市北区楢津1427
TEL・FAX(086)284-2583
ケイタイ 090-3178-4266

JX日鉱日石エネルギー㈱特約店

大内石油株式会社

代表取締役社長 大内宏之
(昭和37年卒)

本 社 岡山市北区御津金川 ☎(0867)24-0844

花咲きまち可営業所 ☎(086)254-2030
港 営 業 所 ☎(086)264-2520
二軒茶屋営業所 ☎(086)294-2304
西大寺松崎営業所 ☎(086)943-1121
セルフ岡山御津S.S. ☎(0867)24-1181
金 川 営 業 所 ☎(0867)24-0069

糖尿病

ご不安をおもちの方のご来院を心よりお待ち申し上げております

糖尿病専門医 岡田奏二 (昭和37年卒)

岡田メディカルクリニック

岡山市北区伊福町3-5-4
TEL 086-255-2345

---

oniビジョン

代表取締役社長 藤井邦昭
(昭和38年卒)

〒700-0986 岡山市北区新屋敷町1-1-18
TEL(086)805-0202 FAX(086)805-1233

アクト設備株式会社

代表取締役 保住 長男（昭和38年卒）

本　　社／〒703-8221 岡山市中区長岡468番地1
TEL(086)279-7677　FAX(086)279-7887
津山出張所／〒708-0052 津市田町119番地11
TEL(0868)22-8505　FAX(0868)22-8506

業務内容
◆空気調和設備・販売・設計・施工・管理◆ビル設備総合メンテナンス
◆水、鉄、スケールの除去と防錆装置・設計・施工
◆建設業許可岡山県知事 許可(般19)第15201号
管工事業・電気工事業・消防施設工事業

口分田歯科医院

口分田 晃
（昭和41年卒）

〒700-0083 岡山市北区津島新野2-2-15
TEL(086)253-9023

THP：トータル ヘルス プロモーション
和合整骨院

院長 三谷敏之

〒701-1145 岡山市北区横井上106-1
TEL/FAX(086)294-8080
〔たけべ分院〕TEL/FAX(086)722-2255
三谷 達子（昭和41年卒）

十六夜絵画クラブ

後藤正子
（昭和42年卒）

神土純子
（昭和42年卒）

なかやまクリニック

循環器科・内科・外科　他
特定健診

中山頼和
（昭和42年卒）

〒701-0211 岡山市南区東畦112-38
TEL(086)282-4199

岡山二人クリニック

OKAYAMA COUPLES CLINIC

林　仲旨
（昭和42年卒）

〒701-1152 岡山市北区津高285番地
TEL(086)256-7717
FAX(086)256-7667

岡山市病院事業管理者
総合病院岡山市立市民病院長

松本健五
（昭和45年卒）

DEMECAL特約店
株式会社 サンプリ西日本

代表取締役 黒瀬正義
（昭和46年卒）

〒700-0816 岡山市北区富田町2丁目12番16号
センチュリー富田町602
TEL(086)225-8607　FAX(086)225-8600

水と取り組む・実績と信用
上下水道用資材総合取扱店・上下水道設計施工
株式会社 佐藤管材工業

代表取締役 佐藤三平（昭和46年卒）

〒701-0165 岡山市北区大内田830-2
TEL(086)292-5311(代)　FAX(086)292-5188

有限会社 システムフロンティア

代表取締役 永禮一平
（昭和46年卒）

〒700-0942 岡山市南区豊成2丁目7番16号
TEL(086)264-0326　FAX(086)264-0326
E-mail：nagare@s-frontier.co.jp
URL：http://www.s-frontier.co.jp/

光成法律事務所

弁護士 光成卓明
（昭和48年卒）

〒700-0816 岡山市北区富田町1-3-15 グランデール2階
TEL(086)224-2809　FAX(086)224-2819

株式会社 両備システムソリューションズ

代表取締役社長 小嶋光信

弊社は、従来のシステム開発を超えた新しい視点を持った企業です。私たちは、周辺サービス業務を含め、システム・ライフサイクル・マネージメントをトータルにご提供いたします。

本社　〒702-8006 岡山市中区藤崎564番の5
TEL 086-200-0700　FAX 086-200-0712
URL http://www.ryobi-sol.co.jp/
本　店（南区豊成）　東京支社　大阪支社

財団法人 淳風会

JUNPU

健康管理センター
センター長 妹尾悦雄
（昭和51年卒）

〒700-0913 岡山市北区大供2-3-1
TEL(086)226-2666　FAX(086)226-0370
URL http://www.center.junpukai.or.jp/

三陽技研株式会社

代表取締役社長 井上沙緒（昭和53年卒）

空気調和、給排水衛生設備工事　設計施工
設備設計一級建築士事務所

本　　社／〒700-0941 岡山市北区青江4丁目8番1号
TEL 086-231-0248　FAX 086-224-4765
http://www.sanyo-giken.co.jp
倉敷営業所／倉敷市北畝2丁目17番27号

【歯は命につながっている】
医療法人社団 華光会
はなふさ歯科

院長 華房英樹（昭和54年卒）

〒702-8026 岡山市南区浦安本町73-6
TEL(086)265-7007　FAX(086)265-9226
URL http://www.8723dental.com/

株式会社 オーノ

指定児童デイサービスⅠ型　ぐるぐるめろん島
指定児童デイサービスⅡ型　ふるーつ村・もりもりめろん広場
日中一時支援　まーぶるの森
相談支援

連携医療機関 大野小児科医院（小児科・小児神経科）
代表取締役 薬剤師 大野順子（旧姓 只友）
（昭和61年卒）

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-2-13
TEL(086)254-7768

税理士法人 石井会計

代表社員 税理士
齊藤司幸（昭和61年卒）

〒700-0945 岡山市南区新保1107-2
TEL(086)201-1211　FAX(086)201-1215
URL：http://www.ishii-cpa.com
E-mail：ishiicpa@mx4.et.tiki.ne.jp

今号の発行に当たりましては、有本正様（昭和25年卒）、安東醇様（昭和29年卒）、竹本敷美子様（昭和29年卒）、米戸金男様（昭和29年卒）、治郎丸毅雄様（昭和34年卒）、小森章二郎様（昭和42年卒）、片山淑雄様（昭和45年卒）からもご芳志を賜りました。ありがとうございました。

インターネットで読めるようになりました

県北の皆様とともに歩んで101年。
遠くに居ても当日の津山朝日新聞が読めるようになりました。
一面の立ち読みは無料、一部100円からお買い求め頂けます。
詳細は 新聞オンライン.COM

津山朝日新聞オンライン　検索